

令和2年9月25日

一般社団法人日本保全学会西日本支部主催
「超音波診断技術（UT）を用いた原子力発電所の保全技術セミナー」
の開催について（案内）

日本保全学会
日本保全学会西日本支部

拝啓

初秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は日本保全学会（西日本支部）の諸活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、西日本支部では、下記のとおり講演会を開催することにいたしました。本年3月開催予定でしたが、コロナ禍により延期となったセミナーを改めて開催する運びとなりました。皆様のご参加を賜りたくお願いいたします。

敬具

記

1. 開催趣旨

原子力発電所では、供用期間中の保守管理活動として、容器、配管等の健全性の確認が定期的に行われている。機器ごとに検査方法・検査範囲・検査期間を計画的に定め、非破壊検査（目視確認、超音波探傷検査等）を行い、使用されている材料に異常がないことを確認する。さらなる非破壊検査技術の高度化を目指し、現在、き裂サイジングの高精度化や経年劣化による格納容器建屋内部の損傷確認のための超音波探傷技術開発が進められている。既存技術に加え、新たな計測技術を用いながら健全性診断の向上を図ることが可能となっている。本講演会では、超音波探傷検査の現状と新規技術展開の状況を紹介し、現場のニーズや工学的要件に即した超音波診断技術について議論したい。

2. 日時 令和2年10月29日（木）13：00～16：40

3. 場所 Web会議（Webex）

4. 内容 プログラム（別紙）

5. 対象 日本保全学会会員

6. 参加費 正会員・支部会員 12,000円、
非会員 15,000円、
学生会員・学生非会員 1,000円

7. 申し込み 参加申込書にご記入の上、お申し込みください。（締切10月23日）。

西日本支部事務局（石井）west.com@jism.or.jp

以上

一般社団法人日本保全学会西日本支部主催
「超音波診断技術 (UT) を用いた原子力発電所の保全技術セミナー」

日時 令和2年10月29日(木)

場所 Web会議 (Webex)

(司会) 福元謙一 (福井大)		
12:30 -13:00	Web 接続および参加者確認	
13:00 -13:10	開会挨拶	支部長 堀池 寛 (福井工大)
13:10 -14:00	PWR プラントにおける UT 適用事例と今後の展開	井原亮一 (MHI)
14:00 -14:50	新技術を適用した超音波探傷試験技術の開発	石田仁志 (INSS)
14:50 -15:00	ブレイク	
15:00 -15:50	超音波探傷可視化技術によるコンクリート中の 欠陥診断	鈴木啓悟 (福井大)
15:50 -16:10	総合討論 超音波探傷試験技術の今後の展開	
16:10 -16:20	閉会挨拶	中村隆夫 (大阪大)